

## 令和3年度 第1回日立市行財政改革推進会議について

1 日 時 令和3年5月20日(木) 午前10時から午前11時30分まで

2 場 所 日立市役所 305号会議室

### 3 出席者

(1) 委員

平田委員長、石川副委員長、村上委員、稲川委員、皆川委員、小峰委員、栗原委員、加古委員、鈴木委員

(2) 事務局

(総務) 渡邊部長、川崎企画員

(行) 相川課長、鈴木課長補佐、高橋主事

### 4 会議内容

#### 議題 行財政改革大綱(第8次計画)の令和2年度推進状況について

【事務局】— 総括部分(P1～P12)を資料に基づき説明 —

発言者	発言内容等
<b>【新しい生活様式に対応した推進指標等について P12】</b>	
委員長	新しい生活様式に対応した推進指標等を掲載し、報告を受けるのは、今回の行財政改革推進会議が初めてか。
事務局	今回が初めてである。 第8次計画はコロナ禍前に策定した計画であるため、新型コロナウイルス感染症拡大等を踏まえ、新しい生活様式に対応した推進指標等を掲載した。
<b>【進捗状況について P1】</b>	
委員	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、約9割の推進事項が計画どおりに進んでいるということは、すごいことだと思う。
委員長	このままの評価でも問題ないと思うが、コロナ禍で加速した取組などについては、S評価にするように検討しても良いのではないか。
<b>【経費削減額について P10】</b>	
委員	ペーパーレス会議や借地の解消推進により削減した経費については、額だけではなく、どのくらいの割合で削減できたのか、教えてほしい。 削減額が1,800万円とあるが、例えばそれが全体の10%なのか、0.1%なのかで大きな違いになると思う。
事務局	割合についても、次回以降反映させられるものは反映させていきたいと思う。 (確認結果) ・年間借地料(令和元年度)：約5億7,300万円 借地料削減額(令和2年度)：約1,800万円(約3%削減) ・紙の使用枚数(令和元年度温室効果ガス排出実態調査)：約3,000万枚 ペーパーレス会議における紙の削減枚数：約8万枚(約3%削減)

委員 長	土地を買う等の経費がここに入っていないとフェアではない気がする。 予算規模からすると、1,800万円というのは小さい額だとは思いますが、ちりも積もれば山となるということで、引き続き取り組んでいかなければならないと思う。
------	--

**議題 行財政改革大綱（第8次計画）の令和2年度推進状況について（推進事項一覧部分 P13～P81）**

発言者	発言内容等
<b>【No.1 職員の更なる能力向上の推進】</b>	
委員 長	能力向上だけではなく、職員のやりがいや働きやすさについて、モニタリングや評価というものがされているようでされていないように感じる。 指標を作る必要はないが、職員の意見を自由に吸い上げられるような取組や、自分の本当にやりたい仕事を副業的に行うことができるような仕組みについて検討しても良いのではないか。
<b>【No.2 人材活用の推進（継続）】</b>	
委員	推進指標が「女性職員に占める管理・監督職員の割合」となっているが、（参考）にあるように、係長以上職員の中の女性職員の割合としてほしい。他の自治体はほぼそのような指標となっている。 また、推進指標も各年度1%ずつしか上がっていないので、次の計画の時には、もっと高い数値にして、女性職員の活躍を推進してほしい。
事務局	ご提案を踏まえて、次回以降は詳細な数値を報告させていただく。
<b>【No.5 柔軟な働き方に向けた取組】</b>	
副委員長	テレワークの試行実施について、実施人数が999人となっているが、割合で言うところのどのくらいになるのか。
事務局	報告では延べ人数を記載しているため、例えば1人が10回実施したら10件となっている。 機材の整備が進まないところと、市の業務の性質上、個人情報等を取り扱う課所もあるので、テレワークが可能な課所や仕事に限られているというところはあるが、今年度、テレワークの実施のための基準等について整備する予定である。 （確認結果） 職員数（R2.4.1現在）：1,370人 テレワーク実施人数：189人（約14%実施）
委員 長	ボトルネックとなっているのは、機材についてか、実施可能な業務についてのどちらの比重が重いのか。
事務局	どちらもボトルネックとなっている。 機材については、セキュリティ面から、通常庁内で使用する端末を持ち帰ることは出来ないため、例えば職員全員でテレワークを行うとなるとデスクで使用するパソコンと、テレワーク用のパソコンの2台を用意することとなる。 業務については、実施可能な業務について明確な基準を整備できていない。 こうした点を解消し、テレワークを推進していきたいと思う。
委員 長	自治体のセキュリティ等に求められる水準は高いことはわかるが、対応が遅いように感じられる。 コロナ禍においてもう少しスピーディーに推進されても良かったように感じる。

発 言 者	発 言 内 容 等
事 務 局	<p>個人情報、住民情報を取り扱わない業務の中からテレワークを実施できる業務を選ばなければならない。</p> <p>システム面では、遠隔により市内ネットワークに接続することのできるものもあるが、個人情報等に無線で接続することは国の規制により禁止されているので、万が一の事態でも個人情報の漏えいが発生しないように、自宅で行うことのできる業務を考えなければならない。</p>
委 員 長	<p>国や県の規制等もあるため、市として動きづらいということは確かにあると思うが、市としての考え方や事前の準備を整えておくことは重要だと思う。</p> <p>コロナ禍以外の災害時等にも業務継続のためにオンライン化は有効だと思うので、推進して行ってほしい。</p>
<b>【No.8 タブレット端末の有効活用の推進（拡充）】</b>	
委 員	<p>ペーパーレス会議やWebセミナー等の際に画面に資料が表示されていることや、ページ送りを自動で行ってもらえるのはありがたい。</p> <p>紙やコピー代の削減も進んでいるということで、かなり効果があると思っている。コロナ禍において相当に活用が推進されたのではないかと思う。</p> <p>令和3年度の方針として運用方法の整備とあるので、是非推進してほしい。</p>
<b>【No.12 新たな財源確保に向けた取組】</b>	
委 員	<p>有料広告とは市ホームページに掲載する広告などのことか。</p>
事 務 局	<p>例えば、県で行っているエレベーター内への広告の掲示を市でも行う予定であり、現在行っているものであれば、市ホームページの有料広告のほか、ごみ処理袋への広告の掲載、日立駅自由通路の掲示板への広告掲示等がある。</p>
委 員	<p>もっと様々な人の目に触れるための取組を行っていった方がいいと思う。</p> <p>例えば今であれば、コロナのワクチン接種率などを掲載するところに広告を掲載すると、比較的外部の方がホームページ等を見に来ることが増えると思う。</p>
<b>【No.13 地場産品等の活用によるふるさと寄附の確保（継続）】</b>	
委 員	<p>前回の上期報告の際には、約4,000件の申込数だったかと思うが、半年の間に約20,000件も増加するものなのか。報告にある件数や寄附金額がいつからいつまでの期間のものなのか、記載した方がよい。</p>
事 務 局	<p>ふるさと寄附は、寄附金額が自身の所得税額から控除される制度であることから、その年の所得税額が確定する年末に申込が増加する傾向がある。</p> <p>また、日立市は返礼品に家電品等があり寄附金額の単価が高くなっていることから、件数、寄附金額双方とも年末に増加する傾向がある。</p> <p>なお、報告書に記載している金額等は、令和2年度の実績である。</p>

発言者	発言内容等
委員長	<p>単価の高い返礼品が多いとのことだが、少額の返礼品があっても良いと思う。</p> <p>また、ふるさと寄附が単純な税金対策にするのではなく、ふるさと寄附を通じて日立市に関心を持ってもらうために、物だけではなく「こと（施策とセットになるような返礼品）」や、市の活性化のための施策に活用された、といった寄附金の使途についてもPRしたり、寄附者自らが日立市の活性化に継続して関わるような仕掛けを検討したりしてはどうか。</p>
事務局	<p>ふるさと寄附を受ける際に、寄附金をどのような分野で活用してほしいかについて要望を出してもらい、要望に沿って寄附金を活用することとしている。</p> <p>また、推進事項No.12において実施するガバメントクラウドファンディングが、市の活性化のための施策のために寄附金を活用することを明確にした取組である。</p> <p>こうした取組を推進し、ふるさと寄附金を活用したい。</p>
<b>「No.23 保健・福祉施設の利用環境の向上」</b>	
委員	<p>この推進事項の主な取組は「施設の計画的な修繕」となっているが、今回の報告は全て萬春園の建設について記載されている。他の老朽化した施設の修繕等について検討しているのか。</p>
事務局	<p>主な取組のうち、大きな事業が、萬春園の再整備であるため特出ししているが、他の施設についても報告するようにしたい。</p> <p>なお、福祉施設に限らず、公共施設については長寿命化に向け公共施設マネジメント計画やそれぞれの計画に基づき各施設において、定期的な修繕等を行っている。</p> <p>（確認結果）主な修繕工事等（令和2年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センタートイレ及び屋上・駐車場棟防水改修工事</li> <li>・十王総合健康福祉センターホール系統冷温水発生機更新工事</li> <li>・吹上荘トイレ改修工事</li> <li>・はまぎく荘トイレ改修工事</li> </ul>
委員長	<p>萬春園の再整備についての取組しか記載がないと、それ以外の施設は行っていないように見えてしまうため、他の施設の取組についても記載してほしい。</p>
<b>【No.25 学校再編の推進】</b>	
委員	<p>パブリックコメントに回答している人たちはどのような人たちなのか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントの回答者の属性等については、改めて確認する。</p> <p>（確認結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会ホームページにおいて、受け付けた御意見を小学校区別に回答者の属性を記載した上で公表（令和3年1月27日）</li> </ul> <p>受付件数：410件（意見総数：611件）</p> <p>主な回答者：中学生以下の子どもがいる方</p>
委員	<p>学校再編計画は、定住するに当たって家を建てる場所等にも関係してくると思うので、これから結婚する人たちにも配布してほしい。</p>
事務局	<p>市内への移住者に向けてさらにアピールすることができるよう、御意見があった旨を担当課にお伝えする。</p>

発 言 者	発 言 内 容 等
<b>【No.37 食品ロスの削減に向けた取組】</b>	
委員	現在は、市役所、各支所及び市社協に「きずなBOX」を設置し、食品の回収を行っているとのことだが、JR等の協力を得て、主要な駅にも設置することとすれば、通勤で駅を利用する方や学生にも食品ロスの削減に向けた意識付けができるのではないかと。
事務局	本事業の中心となって活動しているNPO法人の県内各所での事例等から、効率的な食品の回収のため情報収集を行い、設置場所の拡大等について担当課と調整を進めたい。
委員長	コロナ禍で食品ロスの削減に向けた取組について関心が高まっているところだが、新型コロナウイルス感染症収束後も平常時の取組として推進してほしい。
<b>【No.45 放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携推進】</b>	
委員	以前は、放課後児童クラブは地域の母親たちにお手伝いをお願いし、運営していたかと思うが、今後民間委託を検討するとあるが、どんな事業者を想定しているのか、どんな背景があるのか、コスト面は削減ができるのか、等について民間委託を行うのであれば、これまで運営に携わってきた方たちに対して丁寧に説明することも考えていただきたい。
事務局	今後子ども教室と児童クラブの一体化を行っていくに当たり民間委託を進めると聞いている。 放課後子ども教室は13か所で行うこととしているが、そのうち3か所がNPO法人、2か所がコミュニティ、残り8か所を民間事業者に委託することとしている。それぞれアンフィニとシダックスという企業が4か所ずつ行うが、いずれも他の自治体での委託実績がある。 委託をすることで、授業の質の均一化を確保することができる。 これまで運営にご協力いただいていた地元の指導員の方々などには、丁寧にご説明をさせていただきたいと思う。
<b>【No.55 中小企業の持続的発展への支援】</b>	
委員	DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用について、大企業等では進んでいるようだが、中小企業はどのように活用すればいいか難しいところがあるので、中小企業への導入支援はぜひ引き続き実施してほしい。 また、6月に産業支援センターにおいて実施予定であったセミナーが中止になってしまったため、セミナーの代わりになるものを実施してほしい。
委員	日立地区産業支援センター、茨城県産業技術センター、ひたちなかテクノセンターを仕事柄よく行き来するが、ここ数年IoT関係のセミナーがどれも類似したものになっている。 研修の内容が比較できるような形で取組を知らせてほしい。
<b>【No.56 グリーンツーリズムを通じた中山間地域の魅力づくり】</b>	
副委員長	中里地区の活性化に向け、市長に提言をしたところである。農家民泊等の集客が難しいことは理解できるが、ここで取り上げているのは、基本的な計画を進めるということなので、「日立市観光物産振興計画」については、早期に取り組んでほしい。

## その他

発言者	発言内容等
<b>【コミュニティについて】</b>	
副委員長	<p>現在、様々な面で利便性が向上して、個人の生活においてコミュニティが無くても困らないという時代になってきている。</p> <p>一方で、行政からすればコミュニティが行うサービスは多く、コミュニティがないと立ち行かない状態だと思う。</p> <p>市民一人一人が、「自分はこのコミュニティの住民だ」ということを認識していかなければ、行政が考えるほどコミュニティは機能しなくなる。</p> <p>コミュニティがなくなることで誰がどう困るのか把握しなければならない。</p> <p>コミュニティの必要性を明確に行動計画に盛り込んでほしい。</p>
委員長	<p>つながりや協働というが、限界に近い時代になってきていると思う。</p> <p>以前はつながらないと生きていけない面があったが、今はあらゆる面で便利になり、ある意味、つながらなくても生きて行けるし、個人・ソロ活動が主になってきている。一方で、やはり人はつながりがあってこそ充実した生活が送れ、社会も成り立つと思うので、今は無理やりにでも人と人がつながるような仕掛けを作っていかなければならない。</p>

## 今後のスケジュール

### 【事務局】

本日いただいた意見を踏まえて、市長以下各部長で構成する行財政改革推進本部会議で協議した後、市議会へも報告して意見をいただく。

また、今回の会議の議事録については、ホームページで公表予定のため、事前に公表内容を各委員に確認していただく。

以上